

「不死鳥(フェニックス)ウォールアート設置記念式典」を開催します

— 河野宮崎県知事が来市、「宮・宮の絆」を確認 —

- 本年4月17日から「まち・ひと・しごと交流プラザ」で掲示している「不死鳥（フェニックス）ウォールアート」に関し、7月25日（日）に設置主体の宮崎県から河野俊嗣知事が来市し、設置記念式典を開催します。
- この不死鳥（フェニックス）ウォールアートは、宮崎県での「国文祭・芸文祭みやざき2020」の関連事業として制作されたもので、全国から公募で集まった羽根の絵（12,337点）の一部を組み合わせて描かれた作品となっています。
- 当初、掲示を開始する4月17日にお披露目式典を開催する予定としていたものの、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況から、これまで式典を開催できない状況が続いていましたが、今般、ようやく河野知事がお越しになり開催できる運びとなりました。
- 宮崎県からは毎年多くの漁船が入港しており、24年連続生鮮カツオ水揚げ日本一の本市にとって、宮崎県との関係は重要と認識しています。今回の式典を契機として、この「宮・宮の絆」（宮城県と宮崎県の強い絆）をさらに深めてまいります。

【「宮・宮の絆」不死鳥（フェニックス）ウォールアート設置記念式典】

- 日時 令和3年7月25日（日） 昼12時から12時50分まで
- 場所 気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ（PIER7） 2階 軽運動室
- 出席者 河野宮崎県知事，菅原気仙沼市長，菅原気仙沼市議会議長ほか
- 主催 宮崎県（国文祭・芸文祭みやざき実行委員会）
- 内容 テープカット，宮崎県在住ピアニスト 野田あすかさんによる「不死鳥の羽の音～気仙沼の大地へ～」の披露，「国文祭・芸文祭みやざき2020」のイメージ曲「ココロイロ」を気仙沼小学校の生徒と合唱

【ウォールアートの概要】

- 設置の経緯 宮崎県と気仙沼市は、以前からカツオ一本釣り漁業などの水産業において結びつきが強く、震災直後の平成23年7月には「宮・宮の絆イベント～帰ってきたど&待ってだば～」として、宮城県・宮崎県の共同開催によるカツオの水揚げ式を行うなどの交流をしてきました。
今般、「国文祭・芸文祭みやざき2020」（第35回国民文化祭，第20回全国障害者芸術・文化祭）の開催に合わせ、アートの力で被災地・気仙沼市を応援したいとの申し出が宮崎県から本市にあり、設置することとなりました。
- 掲示期間 令和3年4月17日（土）～10月中旬（予定）
- 掲示場所 気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ（PIER7） 2階 軽運動室

